

# 桐生市酒米生産組合について

## 1. 会員名簿

氏名	備考（作付開始年）
小池 英俊	組合長（H30）
小池 寛明	（H30）
渋谷 優	副組合長（R1）
鴨田 拓磨	副組合長（R3）
金子 喜代作	（R4）
渡辺 昇	（R4）

※令和4年度酒米生産者数：5戸



## 2. 設立日

令和3年11月16日

## 3. 組合の設立目的・設立経緯

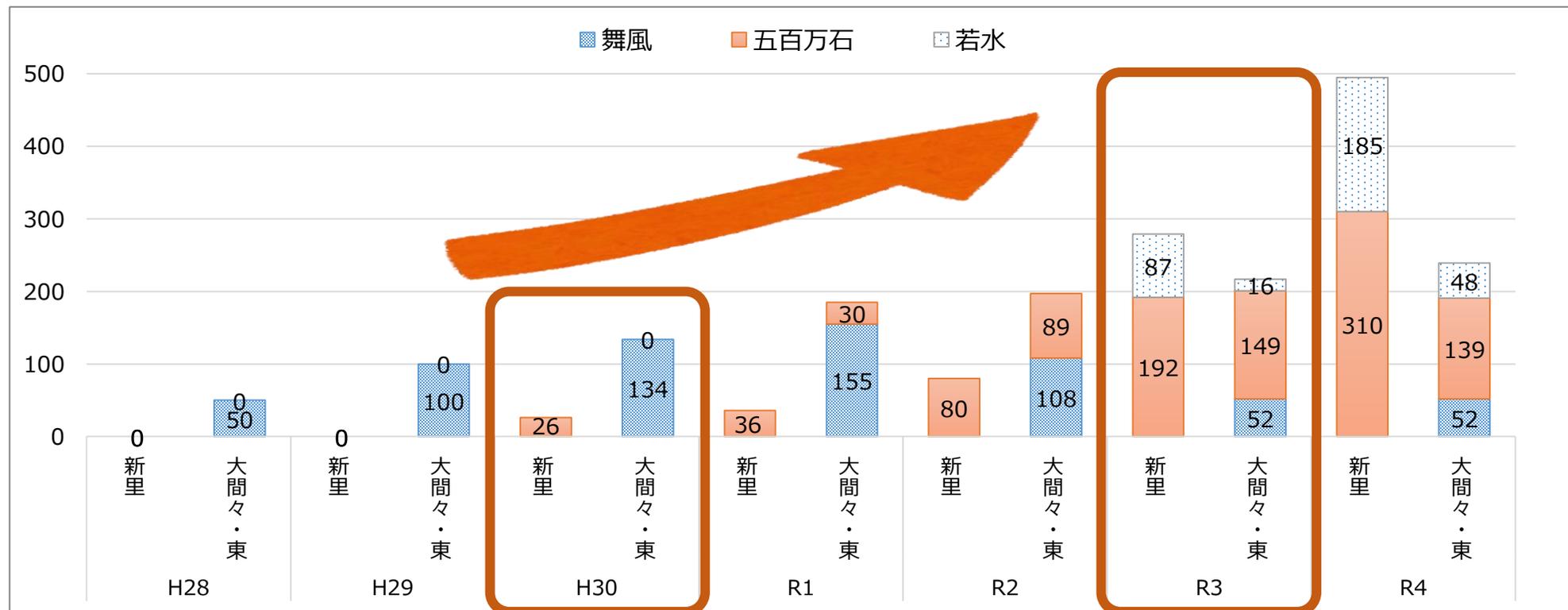
近年、水田の管理者の高齢化により、地域の主力となる農家への水田の集積が進んでいたが、主食用米の価格の下落によって、水田の請け負いが難しい状況にあった。

それと前後して、桐生地区農業指導センターに、みどり市の酒造会社から、地元産の酒米を活用した地酒を製造するための生産要望があった。

そのため、水田が耕作放棄地となることを防ぐとともに、水田を安定して活用できる仕組みとするため、同センターの主導の下、販売価格が主食用米よりも安定している酒米を実需との事前契約で生産、出荷を行うこととし、その生産体制を整えるために新里の主力農家を中心に組合を設立した。

## 4. 酒米作付面積の推移

- 酒米の作付面積は新里地区と大間々・東地区共に、毎年増加している。
- 新里地区では平成30年度に作付けを開始。令和3年度以降、新里地区の作付面積は大間々・東地区を上回っている。



(a)

	H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
	新里	大間々・東	新里	大間々・東	新里	大間々・東	新里	大間々・東	新里	大間々・東	新里	大間々・東	新里	大間々・東
若水	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	87	16	185	48
五百万石	0	0	0	0	26	0	36	30	80	89	192	149	310	139
舞風	0	50	0	100	0	134	0	155	0	108	0	52	0	52
小計	0	50	0	100	26	134	36	185	80	197	279	217	495	239

## 5. 出荷実績

表3 令和3年度桐生みどり地域 酒米出荷実績 (kg)

	品種	大間々・東	新里	計
近藤酒造(株)	舞風	2,940	0	2,940
	五百万石	6,930	8,490	15,420
島岡酒造(株)	若水	870	3,630	4,500
計		10,740	12,120	22,860

新里地区と大間々・東地区では、「五百万石」をメインに作付けし、出荷している。

令和3年度からは、「若水」の作付け、出荷を開始した。



田植えの様子



新里町酒米ほ場

## 6. 酒米の利活用

### ①近藤酒造(株)：五百万石（桐生市、みどり市）、舞風（みどり市）

#### (1)桐生市産五百万石使用 純米吟醸五百万石

令和元年2月から販売開始

#### (2)地酒製造量（新酒：令和4年1～6月計）

銘柄名	規格	製造量
桐生市産五百万石	720ml	1,500本
	300ml	1,800本
山紫（旨味熟成含む）	720ml	300本
	300ml	1,800本
花紫（旨味熟成含む）	720ml	500本
	300ml	1,800本

※地酒は販売状況を見ながら数量を決定。

出荷した酒米は地酒の他、その他の銘柄酒及び甘酒の原料として活用

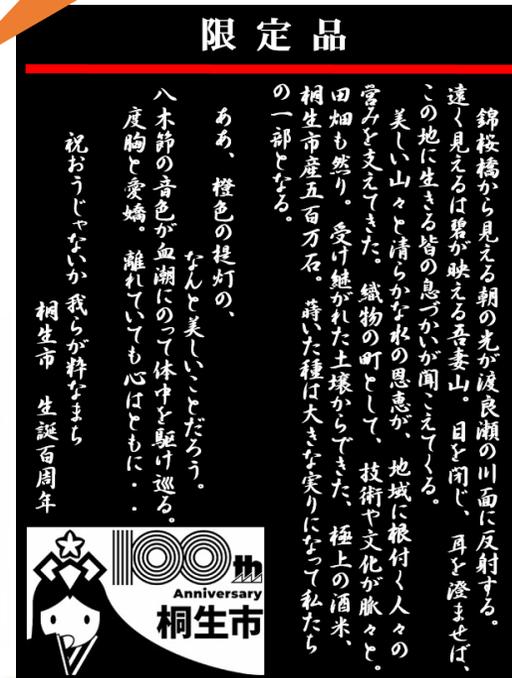
#### (3)地酒販売先

- ・ 近藤酒造から群馬県卸酒販株式会社に出荷され、県内全地域で販売。
- ・ 小売店が中心、一部大型店舗での取り扱いもあり。（ヤオコー桐生相生店、やまや等）
- ・ 720ml規格のほか、飲食店利用、お土産需要等を開拓するため、300ml規格を創出。
- ・ 令和3年度企画の飲み比べセット1,500セットは完売したが、好評のためトートバックを3本入り透明キャリーバックに変更し、販売継続中。

桐生市産五百万石使用ラベル



720ml規格



桐生市制施行100周年・水道創設90周年  
記念裏ラベル



飲み比べ3本セット 300ml規格



## ②島岡酒造(株)：若水（桐生市、みどり市）

- 太田市由良町にある、創業1863年の蔵元。
- 令和3年産から出荷開始。酒米の品質や産地の取り組み状況に関心を持ってもらった結果、令和4年産は大幅に取引予定量が増加。
- 淡緑（うすみどり）、初しぼり、淡雪草（うすゆきそう）の原材料の一部として利用されている。



### ③酒以外の活用

- 桐生・みどり地域では、酒の製造工程で産出される玄米や吟醸粉（搗精する際にでる米粉）、麴を利用した製品の創出の検討が進められており、桐生地区では、桐生地区農村生活アドバイザーの活動を通じて、味噌や米粉パンが試作された。



#### <参考>

みどり市ではみどり市酒米推進協議会※を中心に、地域の商工会や観光物産協会と協力し、地酒のほか、甘酒や菓子、石けん等いくつかの商品が誕生



※ みどり市酒米推進協議会：平成30年10月設立。みどり市酒米生産組合、共同精米株式会社、近藤酒造株式会社、群馬県卸酒販株式会社太田支店、小売店、商工会、観光物産協会、みどり市で構成。オブザーバー：富弘美術館、事務局：農業指導センター（令和4年度事務局をみどり市に移管予定）



**地元産品を使用した商品が創出されることにより、酒米の生産がより安定的なものとなることが期待される。**